

1. 授業の概要(ねらい)

この授業ではTOEIC受験に向けた試験対策を行います。対象は現在350～400点レベル、英検準2級1次試験合格程度の学生を想定しています。『対策講座Ⅰ』で比較的軽い扱いに留めた難易度の高い問題に挑戦しますが、主に以下の取り組みによって、正解率アップをめざします。PART3&4(会話やスピーチの内容把握)においては、解答に必要な情報のみに集中する。PART6&7(長文問題・図表の読解など)においては、大意の把握を優先する速読に慣れ、情報を素早く探し出すコツをつかむ。学期末には、450～500点レベルに到達することをめざしています。

2. 授業の到達目標

リスニング部門

- ①PART1(短文の聞き取り)→基本単語を正確に書き取ることができ、60～80%程度得点できる。
- ②PART2(典型的な質問→応答パターン)→場面に応じた定型表現に慣れ、60～80%程度得点できる。
- ③PART3&4(会話やスピーチの内容把握)→必要な情報のみに集中することで、30～40%程度得点できる。

リーディング部門

- ④PART5(文法・語彙問題)→基本事項を理解し、60～80%程度得点できる。
- ⑤PART6&7(長文問題・図表の読解など)→大意の把握を優先する速読に慣れ、必要な情報を探し出すコツをつかむことで、30～40%程度得点できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験100%で評価します。合格基準は概ね40～50点の見込みですが、期末試験の得点分布を考慮の上、決定します。参考までに、2018年度受講者の単位修得率は約70%、19年度は約74%、20年度は約81%、21年度は約83%でした。

4. 教科書・参考文献

教科書

北尾靖幸他 『一步上を目指すTOEIC Listening and Reading Test: Level 2 -Intermediate-』 朝日出版社

5. 準備学習の内容

前期の授業と同様、予め問題を解いてあることを前提にポイント解説を行います。やはり、復習を重視してください。リスニングについては、自信を持って「聞き取れた」と思えるまで、リーディングについては、基本単語の意味用法を確実に覚えらるまで、念入りに行いましょう。長文については、完全に意味を理解するよりも、大意を把握しながら速読できるようになることが大切です。

6. その他履修上の注意事項

受講希望者多数の場合、適正な授業環境確保のため、人数制限(=100名程度)する可能性があります。過去に、私が担当したこの科目を履修したものの不合格となった上級生は、定員に余裕がある場合のみ再登録を許可します。

この授業は、「自己啓発」の一環として開講されている科目です。他人の勉学の邪魔をするような非常識な学生は言語道断ですし、努力が嫌いな人もお断りします。授業中の私語等についても、厳しく対処します(→受験資格剥奪、不合格判定)。

7. 授業内容

- 【第1回】 Guidance、前期の復習
- 【第2回】 Unit 1: Eating Out 文法:動詞(1)
- 【第3回】 Unit 2: Travel 文法:動詞(2)
- 【第4回】 Unit 3: Amusement 文法:品詞
*金曜5時限のクラスは、この課がLMSを用いた補講になります。具体的な日程は、初回授業時に説明します。
- 【第5回】 Unit 4: Meetings 文法:分詞
- 【第6回】 Unit 5: Personnel 文法:不定詞と動名詞(1)
- 【第7回】 Unit 6: Shopping 文法:不定詞と動名詞(2)
- 【第8回】 Unit 7: Advertisement 文法:仮定法
- 【第9回】 Unit 8: Daily Life 文法:受動態
- 【第10回】 Unit 9: Office Work 文法:代名詞
- 【第11回】 Unit 10: Business 文法:数量詞
- 【第12回】 Unit 11: Traffic 文法:接続詞
- 【第13回】 Unit 12: Finance and Banking 文法:前置詞
- 【第14回】 Unit 13: Media 文法:語彙
*火曜5時限のクラスは、この課がLMSを用いた補講になります。具体的な日程は、初回授業時に説明します。
- 【第15回】 まとめと期末試験
*学事日程上は、⑭週目の授業(=1月6日または10日の授業)に相当します。